	主要課題	施策の方向性	具体的な方法と施策	数値目標	現状 (H27)	目標 (H32)	単位
	,			・高等技術校の施設内訓練を修了した者の就職率(障がい者訓練科を除く)	93. 8	100	%
	1 地域の産業が必要とする人材育成		①地域産業の振興施策を踏まえた職業能力開発 ②関係する団体と連携した人材の育成	・高校生の県内就職率	75. 2	84.0(※)	%
				・県内企業の採用計画人員の充足率	81. 1	100	%
			③熟練技能の継承と後継者の育成 ④新たな分野の人材育成				
			⑤地域の産学官の連携による人材育成	•			
		(1)技術の変化に対応した 人材の育成	① I Tを活用できる人材の育成 ②実践的な人材の育成				
	2 生産性向上に向けた人材 育成の強化						
				・県が実施する人材育成研修受講企業数	693	800 (※)	社
		(2) 労働者及び企業に対す る能力開発の支援	①労働者のキャリア形成への支援 ②企業の人材育成への支援 ③訓練機会の確保	・人材育成計画の策定・実行に取り組む企業数(累計)	-	75 (※)	社
			④職業能力開発に係る情報提供				
	3 全員参加型社会の実現に 向けた職業能力開発	(1) 若者の職業能力開発	①キャリア教育の推進 ②就業経験の少ない若者への支援 ③若年無業者等に対する切れ目のない支援	・高卒三年後の職場定着率	60. 9	70.0 (※)	%
				・大卒三年後の職場定着率	60. 3	70.0 (※)	%
				・ジョブカフェしまねでの大学生インターンシップ実施件数	425	450 (※)	人
		(2) 女性の活躍促進に向け た職業能力開発	①女性の活躍促進に向けたキャリア形成の支援 ②女性の多様な課題に配慮した職業訓練の実施	・係長以上の役職に女性を登用している事業所の割合	60. 3 (H26)	65. 0	%
				・しまね女性の活躍応援企業登録企業数	-	150. 0	企業
				・障がい者訓練受講者の就職率	81.3	82. 0	%
		(3)障がい特性に配慮した 職業訓練機会の提供	①職業能力開発施設における職業訓練 ②個々の障がい特性に応じた訓練の実施 ③関係機関との連携による支援 ④障がい者の技能向上への取り組み				
		(4)中高年齢者の職業能力 開発	①生涯を通じたキャリア形成への支援 ②再就職への支援				
		(5)非正規雇用労働者の職 業能力開発	①キャリアアップへの支援				
		סלווט גיסוו אי	1/2				
			1/ 4				

主要課題	施策の方向性	具体的な方法と施策	数値目標	現状 (H27)	目標 (H32)	単位
4 人材の最適配置を実現するための基盤整備	(1)公的職業訓練の実施	①総合的な訓練計画の策定 ②機構の行う職業能力開発 ③高等技術校の行う職業能力開発 ④多様な職業訓練 ⑤公共職業訓練施設における訓練科の充実、見直し ⑥職業訓練サービスの質の確保・向上	・高等技術校の委託訓練を修了した離転職者の就職率 ・ ・	79.9	80. 0	%
	(2)職業能力評価制度と ジョブ・カード制度の 普及促進	①職業能力評価基準の普及 ②ジョブ・カード制度の活用	•			
	(3)企業における人材育成 の促進	①人材育成の促進				
5 技能の振興		①技能に関する興味、関心の向上 ②技能者の育成と技能の伝承 ③技能尊重機運の醸成及び技能労働者の地位向上	·技能検定合格者数	686	750 (※)	人
6 職業能力開発施策の推進に向けた関係機関の連携		① 関係機関の連携強化による施策の推進 ② 関係事業主団体や民間教育訓練施設等との役割分担と連携 ③ 適切な意見聴取の実施				

[※]については、上位計画である総合発展計画において計画期間の最終年となる平成31年度の目標値として定められたもので、本計画においては平成32年度も引き続き取り組む目標値としています。